

「ホテルオーレ イン」（静岡市内）への地下水熱交換空調システム導入

- 令和2年の夏にオープンする「ホテルオーレ イン」（所在地：静岡市葵区常磐町、建築主：（有）新日邦、設計・監理：（株）松田平田設計、施工：[建築]木内建設（株）/[電気]（株）トーエネック/[空調・衛生]（株）ザ・トーカイ）に、地下水を活用した熱交換空調システムが導入される予定です。
- ホテルは地上14階の建物で、そのうち、1階エントランスホール・3～13階のエレベーターホール・共用廊下に地下水熱交換空調システムが導入されます。
- システムの規模（空調能力）は冷房157kW・暖房175kWと、市内では最大規模のものと考えられます。
- 冬は暖房、夏は冷房に地下水熱が活用されます。
- 通常の外気との熱交換空調に比べ、地下水熱交換空調システムは、機器排熱やCO₂排出量が少なく、ヒートアイランド化抑制に貢献します。

【導入されるシステム】

- ① 地下水をポンプで汲み上げる。（地下水は熱交換利用後、地下へ還します）
 - ② 熱交換器で地下水から採熱し、施設内に冷媒を循環させる。
 - ③ 冷媒から熱を伝えられた空気が施設内を暖める（冷やす）。
- ※ 通常の空調との違いは、採熱する元が地下水であること（通常は外気）。



建物外観（2020年2月3日時点）



井戸ポンプ設置の様子



熱交換器設置状況